

# NEWS LETTER

2022/11

vol.15

## CONTENTS

- ・ [R4年度女性エンパワーメント支援制度]

企画展「つなぐ人 つなぐ文ー手紙に「見る」そのひとらしさー」が開催されます

## R4年度女性エンパワーメント支援制度

### 企画展「つなぐ人 つなぐ文 -手紙に「見る」そのひとらしさ-」が開催されます

令和4年度女性エンパワーメント支援制度の事業として、教育学部齋木久美教授が企画に携わった茨城大学五浦美術文化研究所所員企画展「つなぐ人 つなぐ文 -手紙に「見る」そのひとらしさ-」が令和4年11月8日(火)より、茨城大学図書館本館1階展示室にて開催されます。

今回は企画展のお知らせとともに、齋木先生に企画の元となった研究について、ご紹介いただきます。

教育学部 齋木久美教授より

光圀の書について調べたいという学生との出会いが茨城の先達の書に興味を持つきっかけで、授業で扱う書とは異なる、多様な地域の書の世界にもっと触れたいと思うようになりました。小中学校の書写研究が専門でしたので、知らないことばかりで、また「書」という切り口で茨城ゆかりの人物に触れた文献も多くはありませんでした。

それでも、この方面に詳しい方の協力を得ることができ、2019年に本県女子教育の魁である黒澤止幾と豊田英雄の短冊の展示を行うことができました。このころから、短冊の書にも興味が広がりました。

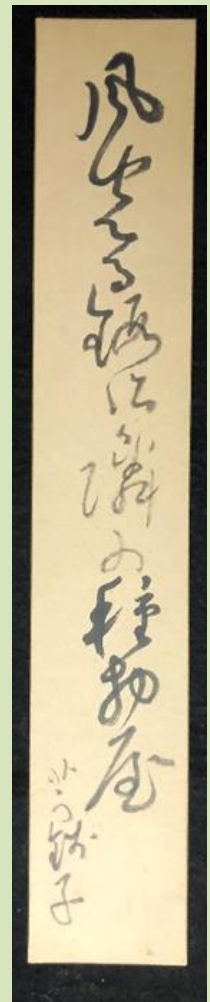
右は芋銭の短冊です。迷いのない線で、「風光る鍛冶が(可)隣の」まで書き、次の「種」で墨継ぎをしています。墨の色、濃淡がきれいだと感じました。

実は、河童の芋銭の手紙を最初に目にしたとき、ほとんど読めませんでした。しかし自在に筆が動き、線の勢いや強さ、墨継ぎ部分などは見ていて飽きないと思いました。そこで、線を鑑賞するために手紙を見る、そういう展示があってもよいのでは、と考えたことが、今回の五浦美術文化研究所の所員企画展につながりました。

読まずに、まずは墨色や筆運びを見て楽しんでみましょう、という企画です。お運びいただければと思います。

風光る鍛冶が隣の種物屋

芋銭子



お申し込みフォームで事前予約の上、水戸キャンパスの図書館にぜひご来場ください。

[茨城大学五浦美術文化研究所 企画展紹介HP]

<https://rokkakudo.izura.ibaraki.ac.jp/archives/1436>

茨城大学五浦美術文化研究所所員企画展 2022

# 「つなぐ人つなぐ文」

H I T O

F U M I

—手紙に「見る」そのひとらしさ—

**会場** 茨城大学図書館本館1階 展示室

**会期** 令和4年11月8日(火)  
～11月21日(月)

開室時間 10:00～16:45  
閉室日 11月13日(日)・19日(土)・20日(日)

**【入場無料】**



■事前申し込み制です  
上のQRコード(展示用)を使用してお申し込みください。  
講演会用QRコードは裏面にあります。

主催 茨城大学五浦美術文化研究所  
共催 茨城大学図書館

茨城大学五浦美術文化研究所所員企画展 2022

# つなぐ人 つなぐ文

—手紙に「見る」そのひとらしさ—

**会場** 茨城大学図書館本館1階 展示室

**会期** 令和4年11月8日(火)～11月21日(月)

**開室時間** 10:00～16:45 閉室日 11月13日(日)・19日(土)・20日(日)

その人らしさが表れる手紙。手紙は当事者間でやり取りするものですから、本来なら本人以外は見ることができないものです。本展は、横山大観、木村武山など五浦ゆかりの画家や大観が認めた小川芋銭、高村光太郎などの手紙に表れる「そのひとらしさ」に触れてみようという企画です。彼らの手紙は草書や変体仮名が使われ、しかも筆を走らせているため、知識がないと「読めない」です。でも、「線」や「書きぶり」を見ることはできます。太さ、細さ、強さ…様々な表現に感じられる「そのひとらしさ」を体験して「読まない」鑑賞をしてみませんか。

■事前申し込み制  
展覧会用QRコードは表面にあります。

**【入場無料】**



【図版】最上部：小川芋銭書簡（宮崎仁十郎宛） 右：小川芋銭短冊（ばけがさ）  
上左：小川芋銭扇面（犢牛） 上右：横山大観書簡（伊達俊光宛）  
下左：同倉天心書簡（森田令夫人宛）  
下中：酒井三良書簡（霧島曹太郎宛）  
下右2点：高村光太郎はがき（宮崎稔宛）

## 記念講演会

**会場** 茨城大学図書館本館3階 ライブラリーホール

**期日** 令和4年11月12日(土)

■事前申し込み制

開場 13:10 開演 13:25～15:50

**講演1** 「小川芋銭の芸術」 小泉晋弥（茨城大学名誉教授・美術評論家） 13:30～14:20  
大観はなぜ、芋銭を日本美術院同人に推挙したのか。その問いから、明治から大正にかけての日本画の展開を考えてみます。

**講演2** 「光太郎と宮崎稔」 安 裕明（茨城県立多賀高等学校講師） 14:30～15:20  
高村光太郎と小川芋銭をつないだ宮崎稔。取手の宮崎仁十郎・稔父子を通じ、芋銭と光太郎の交流についてお話しします。

◎講演後に質疑の時間を予定しております。

会場案内：JR水戸駅（北口）バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行（栄町経由）」に乗車、  
「茨大前」「茨大前営業所」で下車。時間帯によっては「茨大正門前」で下車することができます。  
（バス乗車時間は約25分）

■右のQRコード（講演会用）を使用して → お申し込みください。



主催 茨城大学五浦美術文化研究所 共催 茨城大学図書館

茨城大学図書館 住所 〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

問い合わせ先 平日8:30～17:15 茨城大学研究・社会連携部社会連携課 TEL:029-228-8425 E-MAIL:6kakudo@ml.ibaraki.ac.jp

本企画は、ダイバーシティ推進室 令和4年度女性エンパワーメント支援制度の事業として実施しております